

●名称：EURO 4/6

●目的

クラブマンによる、クラブマンのための“DTM”を開催し、新しい輸入車のゲームフィールド

●クラス

・1980年以降の欧米の5気筒車以上を対象としたクラスを設定し、EURO 4 Gr.-A/B/C、EURO 6：クラスを設けます

●賞典

・各クラス混走。ただし、別賞典とし、各クラス1位をトロフィーにより表彰します

●EURO 4 Gr.-A

・1980年代以降の市販時4座席以上の欧州車・エンジンユニットは、4気筒を対象

・筑波サーキットコース2000の最速ラップタイムが、1分7秒以下を対象としたクラス

●EURO 4 Gr.-B

・1980年代以降の市販時4座席以上4座席の欧州車・エンジンユニットは、4気筒を対象

・筑波サーキットコース2000の最速ラップタイムが、1分7秒1以上1分12秒以内を対象としたクラス

●EURO 4 Gr.-C

・1980年代以降の市販時4座席以上4座席の欧州車・エンジンユニットは、4気筒を対象

・筑波サーキットコース2000の最速ラップタイムが、1分12秒1以上を対象としたクラス

●EURO 6

・1980年代以降の欧州車。市販時の座席数を問いません

・エンジンユニットは、排気量、および、気筒数を問いません・過給器を装着した全ての車輛

●各クラス共通項目

●エンジン

・オリジナルユニット以外への換装が可。ただし、同メーカー、同車種系列の4気筒・自然吸気型エンジンのみ、ボア/ストロークの変更が可

・自然吸気型エンジンのみ、ヘッドの変更、および、ヘッドの加工が可・自然吸気型エンジンのみ、バルブ開閉タイミングの変更が可

・自然吸気型エンジンのみ、バルブ、バルブガイド、リングの素材変更が可・自然吸気型エンジンのみ、点火タイミングの変更が可

・タイミングベルトの形式、および、素材変更が可・自然吸気型エンジンへのあらゆる過給器の後付けは不可

●吸排気システム

・エキゾーストの形状、および、素材の変更が可・吸気システムの変更が可・制御システムの変更が可

●オイルキャッチタンク

・内容量1リットル以上のオイルキャッチタンクの装着を強く推奨。その際、内容量を確認できるものが望ましい

●キルスイッチ

・装着を推奨

・取り付けを行う場合の位置は、車輛全部の運転席側のフロントウインドウ下部、および、車内。車内に設置する際は、運転者が操作可能であることが必要です

●排気音量

・筑波サーキットコース2000の基準に適合することが必要です

●トランスミッション

・ミッションの作動方式の変更が可・シフト段数の変更が可・ギア比の変更が可

●デファレンシャル

・リミテスリップデファレンシャルの装着が可・ファイナルギア比は規制しません・ピニオン数の変更が可・トラクションブラケットの装着が可

●バッテリー

・車内に設置する場合は、バッテリーボックスなどで完全に隔離することが必要です

●燃料タンク

・純正タンク、または、FIA基準の安全燃料タンクへの変更が可・純正タンク使用の場合は、いかなる加工も不可

・安全燃料タンクへの変更の場合、装着位置を規制しません。ただし、確実に隔壁遮断することが必要です

●ボディ

・ボディサイズ/左右合計10cmまで変更が可

●ボディの変更

・基本的に運転席、助手席、天井、床の内装材の剥離が可・ボンネット、トランクフード、フェンダー、ルーフ、ドアの素材変更が可

・上記素材を変更した場合、変形、脱落がないように装着・上記において、ドア、トランクフード、および、ルーフの形状変更は不可

・ボンネットの開口は不可。また、ボディとの間の隙間は不可・バンパー素材の変更が可。ただし、形状の変更は不可

・フェンダーの拡大を伴う場合、バンパーとの接触部のみ形状変更が可・前後バルクヘッドの剥奪は不可・アンダーカバーの装着、および、そのフラット化が可

・アンダーカバー、および、フロントスポイラーの前方への張り出しは、5cm以内で可・リア方向のボディサイズは、ノーマルサイズより張り出すのは不可

・内張りの剥離が可・車体前後に牽引フックの装着が義務。その際、オリジナル工具の使用が可

・フロントウインドウを除くウインドウのアクリル化が可

●空力付加物

・ボンネットへの空力付加物の装着が可。ただし、その装着高は5cm以内とします

・トランクへの空力付加物の装着が可。ただし、ルーフ、および、バンパー左右面より拡大することは不可

・フロントスポイラー、および、サイドスカートが可。ただし、最低地上高は4cm以上

・フロントスポイラーにカナードなどの空力付加物の装着が可。ただし、バンパー左右面、および、フロントスポイラーより拡大することは不可

・リアディフューザーの装着が可。ただし、耐熱処理が必要。また、リアバンパーより突起せず、最低地上高は4cm以上が必要で

●座席数

- ・一座が可

●ロールケージ

- ・6点式以上のロールケージ装着を強く推奨。サイドバーの装着を強く推奨
- ・ドア素材をオリジナルの鋼板から軽量化素材、または、低強度素材に変更した場合、サイドバーの装着が義務
- ・アルミ製のロールケージ、および、サイドバーは不可
- ・ロールケージを新作する場合の構造材は、外径40mm／肉厚2.0mm以上のサイズで冷間引き抜きの継ぎ目無し純炭素鋼を使用してください
- ・クロモリ鋼材を使用する場合は、FIA規定の外径40mm／肉厚2.0mmを推奨するが、ラリーアート規定の外径38.1mm、肉厚2.16mm鋼材の使用が可

●ロールケージを新作する場合の装着と検査

- ・厚さ3mm以上、面積120cm²の鋼板にロールケージを装着し、これと同様の鋼材／サイズによる鋼材とで、ボディ床部を上下から挟み込むように設置してください
- ・設置のボルトは、8mm以上の4Tボルトとし、4本以上のボルトによって固定・運転席、助手席の緩衝剤は必ず装着してください
- ・前後バルクヘッドの貫通が可。その場合、貫通口の隙間は不可・鋼材の検査のために、直径5mmの穴を設け、その周辺を黄色い枠で囲んでください

●サイドバー

- ・鋼材は、ロールケージと同様の鋼材を使用。アルミ素材は不可
- ・サイズは、メインケージが外径40mm／肉厚2.0mm以上の場合、外径38mm／肉厚2.5mm以上

●サスペンション

- ・サスペンション形式と構造材・形式の変更が可・構造材の変更が可・伸縮レート比は規制しません

●スタビライザー

- ・設置が可。方式、および、形状を規制しません。最低地上高は、フロントスポイラーと同様

●タワーバー

- ・装着が可。形状、および、素材の規制はしません

●灯火類

- ・ストップランプ、テールモールランプ、後方ウインカーは必ず点灯することが必要です

●タイヤ

- ・タイヤメーカー、および、タイヤ径、および、トレッドを規制しません
- ・市販Sタイヤ／ラジアルタイヤの装着のみ可。ただしクムホ製縦溝1本のSタイヤの使用は禁止

●シートベルト

- ・4点式以上のシートベルトをFIAの規定に則って設置してください・FIA公認（8856-2000規格）とします・有効期限は、製造年より5年とします

●ヘルメット

- ・FIA公認（8856-2000規格）のフルフェイス型、および、ジェット型・有効期限は、製造年より5年とします

●服装

- ・FIA公認（8856-2000規格）のレーシングスーツ、グローブ、シューズ、ソックスのみ着用可・各有効期限は、製造年より5年
- ・シングルレイヤーのレーシングスーツは不可

●消火器

- ・1kg以上の容量を持つ消火器の設置を強く推奨。3kg以上の容量を推奨します
- ・設置の際、運転者が作動を可能とするボタンによってエンジンルームを消火できる、または、運転者が消火器を取り外し、消火活動ができることが必要です
- ・その取付けは、横転時においても離脱しないことが必要です

●ゼッケン

- ・ゼッケンを自作する場合、直径50cm以上の円形、または、一辺40cm以上の四角形の白地に、黒色の太文字を用い、算数字の数字で表記してください
- ・ゼッケン数字の書体は規制しません。が、管制塔より可読性があることが必要です